

第一回 高知県・徳島県 地すべり対策研究会の開催について

令和4年1月12日(水)、国、高知県、徳島県の農業・治山・砂防部局と有識者委員とで「第一回高知県・徳島県地すべり対策研究会」が発足された。

第一回研究会では、行政機関は担当エリアの地質や地すべりの特徴、対策事業の説明を行い、有識者は地すべりに関連する最近の研究成果を発表し、質疑応答を行うなど、技術情報を交換し合った。

また、翌日の1月13日(木)に、仁淀川町長者地区の地すべり対策事業の実施箇所にて現地視察を行った。

本取組をとおして、地すべり対策技術の向上や普及を推進し、土砂災害の防止に万全を期してまいりたい。



研究会の発足に係る問題意識の共有



国からの地すべり対策の情報共有



県からの地すべり対策の情報共有



有識者からの研究成果の情報共有

● 長者地すべり地区現地視察

令和4年1月13日(木)、仁淀川町の長者地区において、地すべり対策事業の現地視察を行った。

現地説明を行った後、3号排水トンネルに入り内部の様子や排水の状況等を確認した。トンネル内では、集水管から排出された地下水や土砂について参加者同士で議論が交わされた。



現地説明の様子



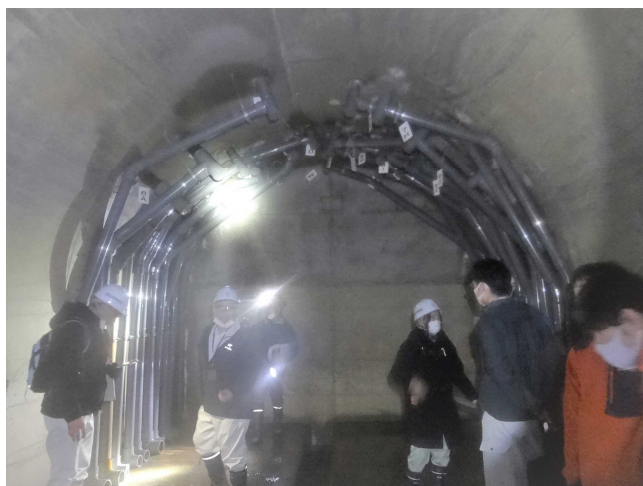
長者地区の集落



3号排水トンネル



トンネル内の様子



トンネル最深部の様子



トンネル内での議論の様子